2024年10月吉日

(公社)沖縄県建築士会
正会員及び賛助会員 各位

沖縄建築賞実行委員会 委員長
(公社)沖縄県建築士会会長
伊佐　強　〈公印省略〉
(一社)沖縄県建築士事務所協会会長
池間　守　〈公印省略〉
(公社)日本建築家協会沖縄支部支部長
伊良波 朝義 〈公印省略〉

「沖縄建築賞」アーカイブ制作事業協賛金のご協力依頼

拝啓　貴社ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。

さて、本会は、沖縄県建築士会、沖縄県建築士事務所協会、日本建築家協会沖縄支部、タイムス住宅新聞社とともに顕彰事業として毎年「沖縄建築賞」を開催しております。皆様のご協力のもと本賞は今年第10回目を迎えました。

そこで、第10回を記念いたしまして「沖縄建築賞アーカイブ」を制作することになりました。

「沖縄建築賞アーカイブ」ではこれまで第1回目から第10回までの各賞受賞作品が閲覧できる内容となっております。沖縄建築賞アーカイブを閲覧することで第10回開催だけでなく、過去の作品を閲覧することで建築文化の向上に資する県内の優秀な建築物、建築士を知ることが出来ます。

そこで、沖縄建築賞アーカイブには受賞作品の紹介はもとより、各回開催時に協賛金にご協力をいただきました企業様を掲載することになっております。(別紙参照)

合わせて掲載欄の企業名から各社ＨＰにリンクいたしますのでPR効果も高い形となります。

これまでの受賞企業様や受賞者様、協賛金ご協力企業様の紹介をすることで各社の再周知をすることになり、各建築士の皆様や各企業様の顧客獲得にも繋がるものと考えております。

つきましては、沖縄建築賞アーカイブ制作事業に向けて、出費多端の折、誠に恐縮とは存じますが、本趣旨のご理解を賜り、制作協賛金のご協力をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

敬　具

記

１．申し込み開始　　：２０２４年１０月２１日（月）
２．閲覧開始日　　：２０２４年１１月～＝予定
３．アーカイブ名　　：「沖縄建築賞アーカイブ」
４．協　賛　金　　：一口１０，０００円（二口以上も可能です。）
５．申し込み先　　：沖縄建築賞実行委員会事務局（タイムス住宅新聞社内）

担当　玉那覇・松田・河野
住所　900-0015　那覇市久茂地2-2-2-11F
電話　０９８－８６２－１１５５（代表）
ＦＡＸ　０９８－８６０－６６７７

メール：kenchiku.jht@gmail.com

沖縄建築賞実行委員会事務局（タイムス住宅新聞社内）行き

「沖縄建築賞」アーカイブ制作事業協賛金申込用紙

FAX：（098）860-6677
メール：kenchiku.jht@gmail.com

① ※社名を下記の枠内にご記入お願いします

ご連絡先	TEL：	ご担当者名：
協賛金額：　　口　　10,000 円/一口（二口以上も可能です）		

② 加盟団体（役員・賛助会）に〇囲み下さい

沖縄県建築士会		沖縄県建築士事務所協会		日本建築家協会沖縄支部	
会員	賛助会	会員	賛助会	会員	賛助会

③ 振込締切：2024 年 11 月 30 日までに下記へお振込みをお願いします

④ 振込先：沖縄海邦銀行　泡瀬支店
普通口座　0225043
沖縄建築賞実行委員会 委員長　伊佐 強

問い合わせ先：沖縄建築賞実行委員会事務局
事務局：玉那覇 松田 河野
那覇市久茂地 2-2-2 11F
TEL：（098）862-1155

沖縄建築のさらなる繁栄を期して

沖縄建築賞は、建築関係者の最大の目標であり、その最高の栄誉であります。沖縄の地理的特性と歴史的背景を反映した特徴、伝統を生かした建築、自然の風土を調和した建築、調査と研究を通じて、この理念の実現に向けての活動を行っております。この度、沖縄の建築の一層の発展のために、優秀な建築の表彰を行います。また、その作品の紹介を通じ、この理念の普及に努めたいと考えております。

我々は、沖縄の建築が、「ブティック、ビジネス・ホテル・コンビニ・ファミリーレストラン」に陥ってはならないと考えております。

沖縄建築賞実行委員会

第10回沖縄建築賞実行委員会 委員長 比嘉 豊光（琉球大学名誉教授）

沖縄から月の光照けlikeな建築を

第10回沖縄建築賞実行委員会 委員長 比嘉 豊光（琉球大学名誉教授）

共同 謙輝 比嘉研一郎 の作品紹介

この度は、沖縄建築賞の栄誉を授与されました。東京都生まれ、1968年から沖縄在住の建築家を長年ずけていただきました。

僕は建ててほしいと言ってはいない。沖縄はこの地球の中ではどこかで、月の光照けなどの遠くの国の中で、地球の中心部分にあるようにいるのです。その月の遠隔地の国の人間がどこかの地球の反対側で住んでいるとすれば、僕は建てたいと思います。僕は、自分の住まいを建てるのであれば、月の光照けlikeな建築を建てたいと思います。

そうした中、私は、住まい、建てたいと思う人が、月の光照けなどの方々と、沖縄の沖縄建築とは、どのような関係があるのか、と考えました。そこで、改めて、どこに建てたら沖縄建築賞の栄誉を授与されたのか、と考えました。そこで、改めて、沖縄の沖縄建築賞の栄誉を授与されたのか、と考えました。

（ただのひと、そうしたあなたに、この沖縄の建築賞を授与されたのです。）

共同 謙輝 比嘉研一郎 の作品紹介

この度は、沖縄建築賞の栄誉を授与されました。東京都生まれ、1968年から沖縄在住の建築家を長年ずけていただきました。

僕は建ててほしいと言ってはいない。沖縄はこの地球の中ではどこかで、月の光照けなどの遠くの国の中で、地球の中心部分にあるようにいるのです。その月の遠隔地の国の人間がどこかの地球の反対側で住んでいるとすれば、僕は建てたいと思います。僕は、自分の住まいを建てるのであれば、月の光照けlikeな建築を建てたいと思います。

（ただのひと、そうしたあなたに、この沖縄の建築賞を授与されたのです。）

第10回沖縄建築賞

地域や気候に寄り添う建築

建築賞受賞作品 ▶

「ハンプティ・ドンプティ」沖縄建築事務所「平和」（建築士：宮江勝浩、1992／沖縄市）

特別建築賞受賞作品 ▶

「海の家の家」（建築士：渡久地修、伊是名夏美、1992／糸満市）

証評

地域や気候に寄り添う建築

今年の沖縄は、梅雨が明けるとかなり暑い日が続きました。気候が建築の外観に大変影響を与えていて、沖縄のいろいろな建築とは、まったく違った建築が地域や環境から生まれました。

住まいの「ハンプティ・ドンプティ」と「海の家の家」

住宅建築賞受作品の「建築事務所」は、沖縄の伝統建築を生かし、ビンクーン（ハイビスカス）の花の色を使った、沖縄の特色の強い住まいです。「海の家の家」は、沖縄の沖縄建築賞の栄誉を授与されました。「海の家の家」は、沖縄の沖縄建築賞の栄誉を授与されました。

「海の家の家」の建築と、自然の風土

住宅建築賞受作品の「建築事務所」は、沖縄の伝統建築を生かし、ビンクーン（ハイビスカス）の花の色を使った、沖縄の特色の強い住まいです。「海の家の家」は、沖縄の沖縄建築賞の栄誉を授与されました。「海の家の家」は、沖縄の沖縄建築賞の栄誉を授与されました。

「海の家の家」は、沖縄の沖縄建築賞の栄誉を授与されました。

「海の家の家」の建築と、自然の風土

第50回神経建築賞

最優秀建築賞

「神奈川県医療福祉センター」「横浜市緑区」「横浜市」「神奈川県」「横浜市緑区」「横浜市緑区」「横浜市緑区